



目標達成計画

事業所名: グループホーム 野いちご

作成日: 平成 28 年 11 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4		会議に参加し易い雰囲気・テーマ作り。家族及び地域の方が、興味深い内容とする。家族間の交流の場として提供し、地域の方、ボランティア等の社会資源の活用をして運営推進会議への、より多くの参加を目標とする。	地域活動への積極的参加を継続し、地域の中での交流・馴染みの関係を時間を掛けて広げている。現在参加している、行事以外に、地域のゴミ拾い、散歩中での笑顔での挨拶、廃品回収に来て貰っている方への茶菓子の提供、寄付等、事細かな事から取り組んでいる。	24 ヶ月
2	25		入居者1人1人を個と捉え、ご本人の、これまで歩んで来られた歴史を基礎とし、ご本人の希望・思いを的確に把握し、より良いサービスに繋げる。ご本人にとって馴染みのある場所、馴染みの人との関係も、十分念頭に置きサービスの向上に努める。	継続すべき事として、1人1人の誕生日月に合わせ1人の職員が1人の入居者と、自宅への訪問や、喜んで頂ける馴染み深い近隣へのドライブ、買い物等を行っている。	24 ヶ月
3	28		入居者の方が、出来る事、出来そうな事又は、どこまで支援したら出来るかの再確認を行う。「行動障害」と成り得る要因を多方面から検討する。上記をチームケア上でモニタリングし、個々の介護計画書に活かす。	個々のアセスメントのあり方を、より細かに、より客観性を持つ様にしている最中である。それにより、見えて来る、諸問題・ストレングスの活用等を、介護計画書に盛り込める様に取り組んでいる。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間